

ひでお行動

7月28日

VOL.25

<http://www.hideo-y.org/#top>
吉泉秀男の毎日の動きがわかります。
ホームページをご覧ください。

7月27日

辻元議員の離党問題、昨夜のニュースで知りビックリする。そして離党記者会見。朝から地元をはじめ電話がかかってくる。党首をはじめ幹事長思い留まるよう話し合いが続けられるが辻元議員の離党の意志変わらず。私にも辻元議員から電話で連絡入るが、何の為に離党するのか、辻元議員の離党しなければならない理由、私には理解できない。

2時から農林水産理事懇談会、明日委員会開催し口蹄疫問題等集中審議することを確認する。私の持ち時間20分と決まる。3時から「事故米不正販売」「口蹄疫」問題について担当部課長と意見交換し、明日の質問を通告する。

「ひでお行動」発行、そして173回臨時国会、174回通常国会記録誌「あしあと」の公正に目を通す。辻元離党問題で気分重く宇都秘書と飲食しながら意見交換・・・・

各社の朝刊、辻元議員の離党、福島党首との仲、社民党役員責任論、内部の対立など記事が踊り、国民から見れば、社民党のマイナスだけ撮り、朝から気持ちがスッキリしない。おかげで8時からの東北利水治水同盟会の国会議員との意見交換に一番早く着く。国会議員の挨拶も到着順で一番早く挨拶する。9時50分から農林水産理事会、10時から委員会。私の質問が最後であるが、私の前の質問者A議員の質問に、答弁がちぐはく、答弁内容に対し納得いかず、結局A議員質問拒否、いやな雰囲気、時間が経過し私の質問時間来る、そんな雰囲気での質問ですから、しっかりした答弁するよう厳しい注文を述べ質問に入る。持ち時間20分は短い、意見と1つの質問で残り5分前、委員長のとりはからいで3問の質問ができたが、気持ちはスッキリしない。そんな中で今日が62歳の誕生日、私は忘れていたが秘書が教えてくれて誕生会



を開いてくれた。秘書2人と同級生2人と呼んでくれたモヤモヤした気持ちが晴れる、秘書の心配りに感謝である。また、私の誕生日を聞きつけ、マスコミNとYの記者が誕生祝いケーキを持ってきてくれて5時から祝って頂く。素直に喜び嬉しい。メールも届く。国会議員は少ないが、地方で頑張っている議員は多くいる。その議員を支えてくれている仲間も多くいる。そして「社民党頑張れ」と応援してくれる有権者が多くいる。今日のいやな気持ちは吹き飛び、ビール、焼酎がうまい。本当に皆さんありがとう。



7月29日

9時半より社民党常任幹事会、中心課題は選挙総括と辻元離党問題である。2つの課題関連している。論議不足が迷い道に入っていると思う。今日の会議では国会議員自ら自分の総括をして徹底論議することを確認する。又、論議が総花的に成らないように、重要な項目を決めて、選上選対委員長が日程調整する。離党問題は留まるよう大阪本部との連携を密にしながら対応する。2時から全国ブロック事務局長会議に出席する。北海道から九州ブロックまで全事務局長揃う。選挙総括をすでに各県代表者会議を開催し総括終わっているブロックやこれからと言う状況であったが、各事務局長から厳しい総括が発言される。「特に少ない国会議員、中央の状況がマスコミからながれる。バラバラのように思える。それが選挙結果に表れた。今回の離党問題は地域で頑張っている党員からすれば許せないと言う気持ち。」得票数が規定票まで取れず、供託金が没収される候補者も多く財政問題も深刻・・・8月27日の全国代表者会議まで「社民党の再建」に向けた総括運動が各県、各地域で展開される。夜、上京している高橋山形県幹事長と久しぶりに飲食しながら意

見交換する。いよいよ明日から臨時国会である。

7月30日

8時半から山形県開発協議会出席、来年度に向けて重要事項について国会議員との意見交換である。国会招集日と重なり、9時から社民党両議員総会である為、挨拶して退席させて頂く。(船山、加藤、近藤、渡辺各議員も同じ) タクシーで急ぐが議員総会終了ギリギリ着くが協議は終了、秘書から内容報告を受ける。10時半から一年ぶりに死刑執行されたことに、幹



事長、照屋議員と共に、法務大臣へ抗議文持参し法務省西川刑事局長と意見交換、国連総会で「死刑廃止条約」が採択され、死刑の廃止が国際社会の共通意思となりつつある中で、死刑制度見直し論者である千葉景子法務大臣がなぜ執行を命じたのか。局長からは明快な返答はでず、法務省には法曹界や多くの民主団体、国民から抗議が続いている。12時45分から代議士会、13時本会議、本会議終了後、青少年問題特別委員会、消費者問題特別委員会そして農林水産理事会と開催される。理事会は前回の委員会でちぐはくな答弁された「口蹄疫にかかる基金」について、まとめた基金メモについて論議、メモは了解するが予算委員会で論議することになる。8月3日委員会開催し大臣の所信表明に対する2時間質疑、私は15分の持ち時間と決まる。「事故米転売問題」を取り上げることにする。16時半フライト、30分遅れる。19時からT建設会社ビアパーティーに後援会事務局長、石川議員と参加。

7月31日

熱い、あつい夏、65年目の夏である。原爆病院で今も悲痛な叫びを訴えている被爆者、「も

う私達には時間がないと・・・」7月21日鶴岡から出発し県内を走りながら「ノーモア広島、長崎」と訴え今日米沢に着いた平和の火リレー。「被爆65周年原水爆禁止山形県平和大会」米沢市開催である。今日は元遊佐町長菅原氏の「叙勲祝賀会」と重なったが代人出席で失礼し、鶴岡参加者と一緒に平和大会に出席する。又、選挙戦総括をする社民党東北ブロック県代表会議でもあるが、高橋幹事長から出席してもらおう。参加者は県内各地から約500人集い、大会前に約1時間市内行進である。毎年の事であるが猛暑の行進、米沢市長も来賓として出席する。唯一の被爆国として核兵器廃絶を訴えながらも、米国の「核の傘」に依存すると言う矛盾した政策、低炭素社会を目指すと言いながら原子力発電の輸出政策を推進する民主党政権、原子力発電所の相次ぐ点検漏れ隠し、安全性が問われている中での輸出政策に対し強い怒りを覚える。環境常任委員会での質問に対しても「ちぐはくな答弁」を続ける小沢環境大臣、私たちは青森六ヶ所村の核燃反対運動をはじめ全国での原発運動、そして一番恐れるのはテロリストが核を手に入れることである、「核と人類は共存できない」この事を被爆国として世界に発信していかなければならない。夕方は老人

施設「はなみ」のビアパーティー、理事長はじめ職員に母がお世話になっている事にお礼を述べながら懇親を深める。



8月1日

臨時国会が召集され、マスコミは公明、みんなの党からの議員歳費の日割り法案、管総理の定数削減記事がおどっている。離党問題も絡んで、支持者の皆さんには心配かけてきている。我が選挙区は自民、民主、そして私と現職議員3名である。次は3人の激突である。社民党の私が一番不利であると誰でもが思う。勝てる展望をどう提示していくのか、自ら求められている。今回の参議院選挙丁寧な総括、そこから展望見出し具体的な方針を確立し、取り組みをお願いしなければならない。重い雰囲気蔓延している。だからこそ自ら襟をただしていかなければならない。今日も鮭川村の国道458号道路改良促進期成同盟会総会出席の為、9時にでて、終了後、新庄、最上対策、党員拡大リストアップ、誰にオルグ担当して頂くか。地域課題を絞り対応をどうして行くのか・・・夕方は町内の夫婦の会である「遊話会」ビアパーティーに2人で参加、気持がやすまる。同じ頃、結婚した12組の夫婦である。